

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語科 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 1組： ）（ 2組： ）（ 3組： ）（ 4組： ）（ 5組： ）（ 6組： ）

使用教科書：（ 第一学習社 現代の国語 ）

教科 国語の目標：

【知 識 及 び 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する事項を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	「 <u>本当の自分</u> 」 <u>幻想</u> （平野啓一郎） 【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を予想し、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方について整理し、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えさせる ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握させる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈させる。 ・教科書、準拠ワークブック			○ ○	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈している。	○	○	○	8
	「 <u>水の東西</u> 」（山崎正和） 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとする姿勢を養う。	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・教科書、準拠ワークブック			○ ○ ○	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫している。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。	○	○	○	8
	定期考査Ⅰ									
	「 <u>ものとことば</u> 」（鈴木孝夫） 評論のしるべ 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばせるようにする。	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・教科書、準拠ワークブック			○ ○	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解している。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈している。	○	○	○	7
	「 <u>論理的な表現</u> 」 【知識及び技能】文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。	・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・説得力を意識した表現の仕方について理解する。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	○	○		・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解している。 ・説得力を意識した表現の仕方について理解している。 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	○	○	○	4
	定期考査Ⅱ									
	社会に対する意見文を書く 【知識及び技能】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考える力を伸ばし自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。	・意見文とはどういうものかを理解する。 ・意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。			○	・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に意見文を書こうとしている。 ・目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。 ・書いた意見文を進んで批評し合い、批評を踏まえて論理の展開や表現の仕方を工夫しようとしている。	○	○	○	3
	フェアな競争（内田樹） 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。	・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえさせる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握させる。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述できるようにする。			○ ○	・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえている。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述している。	○	○	○	6
	論理分析【事実と意見】「私作り」とプライバシー（阪本俊生） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。 推論の仕方を理解し使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、文の構成や展開を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。	○	○		・筆者の主張とそれを支える根拠を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	○	○	○	4

